



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん

「高千穂郷」通信



日本の
ひなた
宮崎県

平成28年10月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.165



天岩戸神社と三ヶ所神社で 秋の祭りが行われました



西臼杵管内の神社では、秋の例大祭の時期を迎え、多くの参拝客が神社を訪れています。9月には、天岩戸神社と三ヶ所神社で秋の祭りが行われ、各地域に活気があふれました。

天岩戸神社

9月21日(水)・22日(木)には、「天岩戸神社秋季大祭」が行われました。地区の住民や高千穂を訪れた観光客などが多く訪れ、天岩戸神楽の奉納や、御神幸祭を見物する姿がみられました。

天岩戸神社は、天照大御神(あまてらすおおみかみ)が天岩戸にお隠れになられ、世界は闇に包まれたという神話にゆかりが深い神社で、秋の大祭が行われる2日間、岩戸地区の神社周辺は大変な賑わいを見せます。

21日は、東本宮にて例祭式典が行われた後、西本宮にて「伊勢」や「戸取」などの天岩戸神楽が奉納されました。

22日の午後には御神幸祭が行われ、東本宮と西本宮の間を神輿が往復し、門前町の商店街には、地区内外から出店があり、飲食物を中心に販売され、通り一帯が活気にあふれました。



▲手力雄命が勇壮に力強く舞う舞で、投げた岩戸は長野県の戸隠山まで飛んでいったと伝えられます。



▷門前町では神輿の行列があり商店街が賑わいました。

三ヶ所神社

9月25日(日)には、五ヶ瀬町の三ヶ所神社で例大祭が行われ、国指定の重要無形民俗文化財の「荒踊」と、社殿では「神楽」が奉納されました。1本の大樺(けやき)で造られた本殿は、県の有形文化財にも指定されており、筑紫しゃくなげで有名な同神社には、多くの参拝客が訪れます。

例大祭の日は、火縄銃の発砲を合図に勇壮活発な踊りが披露され、400年以上に渡り奉納され続けている「荒踊」を見るために地元客や観光客が集まりました。



力自慢が集う! 「岩戸投げ大会」



天岩戸神社の秋季大祭では、奉賛行事として、投げた畳の飛距離を競う「岩戸投げ大会」が開催されました。地域内外の子どもから大人まで約40人が参加し、畳の飛距離を競う姿に、会場は盛り上がりを見せました!

この大会は、アマテラスオオミカミがお隠れになった岩戸の扉を、タジカラオノミコトが投げ飛ばしたという伝説にちなんで開催され、大人が約20キロ、子どもが約10キロの畳を元気よく投げ飛ばしていました。



【祝】ご長寿!百歳長寿者訪問 ・敬老祝賀会

9月15日の老人の日にあたって、敬老祝賀会が開催され、西臼杵郡内の百歳長寿者の方に、各町の協力もいただいて、内閣総理大臣及び知事からの祝い状と記念品の贈呈を行いました。

今年百歳を迎えられるのは、興梶フミヨさん、堀川ミツエさん、河内義頼さん、佐藤ヨシノさん、工藤テツ子さん、興梶トシ子さん、飯干シツエさん、(以上、高千穂町)、星本マスエさん、坂本トシミさん、甲斐キトさん、長石マサエさん、工藤ハツヨさん、一水シツエさん(以上、日之影町)の13名です。西臼杵郡内の百歳以上長寿者は、31名(男性2名、女性29名)となりました。

皆さまのご長寿をお祝い申し上げます。いつまでもお元気でいらっしゃってください。



▷100歳長寿者のお祝い

◁ごかせ荘の敬老会



西臼杵3町の林業研究 グループによる交流会を開催

9月11日(日)、高千穂町の向山北小学校跡地で、管内3林業研究グループ(林研)会員の親睦を図るため、高千穂町林研主催の交流会が開催されました。

まず、高千穂町林研の会員でもある西臼杵支庁の椎葉主査が、同林研によるスギコンテナ苗生産に向けた取組を紹介するとともに、他の林研でも苗木生産や物産販売等について検討するなど、今後の活動を積極的に進めていくことを確認しました。

交流会では、支庁や森林組合の職員も加わり、初秋の晴れた校庭で、美味しい高千穂牛を食べながら、西臼杵の森林・林業の活性化について、活発な意見交換が行われました。今後も各町林研の持ち回りで開催していくとのことです。

▷コンテナ苗の生産取組の紹介



◁旧向山北小学校庭で行われた交流会

みやざき次世代農業トップランナー 養成塾が開催されました

8月30日(火)に、宮崎県農業科学館イベントホールにおいて「みやざき次世代農業トップランナー養成塾」が開催されました。日之影町で茶生産・製造を営んでいる甲斐鉄也さん(一心園)を含め県内の担い手農家19名が塾生として決定されました。

みやざき次世代農業トップランナー養成塾は今年で2回目を迎え、開講式では、塾生の紹介や決意表明があり、その後、塾長である河野知事による講義がありました。



◁甲斐鉄也さん(日之影町)の決意表明

今後、専門講師による講義やグループワーク、ケーススタディなど、年間8回が予定されています。この養成塾は、塾生同士の輪が広がり、それぞれの経営について見つめ直す良い機会であり、大きな期待が寄せられています。

県北地区SAP合同夏期大会が 開催されました

8月27日(土)、28日(日)に、日之影町において、県北地区SAP合同夏期大会を開催しました。

延岡地区と日向地区、西臼杵地区の3地区合同で毎年開催しており、SAP会員や関係機関が40名程度参加し、ミニバレーや交流会、フラワーアレンジメント等を実施しました。

フラワーアレンジメント作りは、日之影町SAP会議副理事長の中川穰氏が講師となり、地元で栽培されているトルコギキョウやベビーハンズを主材料として作りました。

大会を通して会員同士の交流が図られ、地域農業の担い手であるSAP会員の更なる発展が期待されます。

▽交流会の様子



△フラワーアレンジメントに取り組む様子



特派員が勝手に調査！ 西臼杵のグッドポイント

...特派員とは西臼杵支庁の若手職員による広報特殊部隊である...

ふた がみ やま

天孫降臨の地を巡るシリーズ 【第1回 二上山編】

皆さんは「天孫降臨」の神話をご存じでしょうか。高千穂は天孫降臨の地として有名です。ニニギノミコトが高天原から中つ国に降り立った場所が、“高千穂”だと伝承されています。今後の高千穂郷通信で全3回に渡って、天孫降臨の地を巡るシリーズが始まります。初回は、伝承地のひとつとされる「二上山」です。

太古の昔、天孫ニニギノミコトは高千穂の二上山に降り立ちました。

二上山は現在の高千穂町と五ヶ瀬町にまたがる標高1060メートルの霊峰です。天孫降臨の山として知られ、古くから山自体が神聖なものとして、人々の信仰の対象となっていました。二上山はその名前の通り「二つの頂上を持つ山」です。すなわち「男岳」と「女岳」の二つの峰を持ち、その姿は国生みの神イザナギ・イザナミ両神そのものです。二上山を祀る人々はこの双峰を夫婦の神様の姿と重ねて信奉していたのでしょ

う。二上山の麓には2つの神社があります。年代は定かではありませんが、はじめ男岳の9合目(杉ヶ越)に、イザナギ・イザナミ両神を祀る祠(旧・二上大明神)が建立されました。しかし、祠までの道中が険しく、また、冬期には積雪により参拝困難となるため、平安時代の中頃に、里の近くに祠を下ろそうということになり、様々な経緯を経て現在は、高千穂側(押方小谷内)に「二上神社」、五ヶ瀬側(はじめは三ヶ所内の口、室町時代後期に宮の原に移される)に「三ヶ所神社」という2つの遙拝所ができました。

▶三ヶ所神社



【住所】五ヶ瀬町三ヶ所8736

▶三ヶ所神社(奥宮)



【アクセス】六峰街道を五ヶ瀬側から入り、車で約30分



▶二上山神社



【住所】高千穂町押方2375-1

また、もともと二上大明神のあった祠には「三ヶ所神社・奥宮」が建立されています。さらに、二上神社と三ヶ所神社には各外宮があり、二上神社の「嶽宮神社」(旧・本組神社)、三ヶ所神社の「桑野内神社」がそれにあたります。

これら5つの神社は、いずれもイザナギ・イザナミ両神を祀っており、これらすべてを含めて二上山全体の信仰を形成しています。

イザナギ・イザナミは日本最初の男女の神で、本州や九州といった国を次々と生みだした、「日本の生みの親」です。2柱の神様の仲睦まじい様子は、高千穂神楽三十三番の一つ「御神体の舞」で妖艶に演じられます。(一説によれば、この「御神体の舞」は二上山それ自体を演舞化したものと言われています)

しかしながら、そんなとても仲が良かった2人ですが、最期は「ある1つの約束事」を守れなかったために、悲しい別離を迎えてしまいました。(どのような約束だったのかは是非調べてみてください!)日本最初のカップルがこのようなうまくいかなかったのですから、いまの私たちの恋愛が山あり谷ありなのも、当然の話ですね。(と、自分に言い聞かせています)

そんなことも感じながら、二上山信仰の神社を巡るのも面白いのではないのでしょうか。



3年連続!釜炒り茶が 日本一 に輝く

三重県鈴鹿市で開催された「第70回全国茶品評会（釜炒り茶部門）」において、五ヶ瀬町の宮崎恵美子さん（株式会社宮崎茶房）が農林水産大臣賞（一等一席）を受賞されました。審査は8月23日から26日まで行われ、西臼杵地域からは6名の生産者が入賞されました。

全国茶品評会においては、3年連続で西臼杵地域の生産者が農林水産大臣賞を受賞しており、西臼杵地域が日本一の釜炒り茶の産地であることを証明しました。



▲日本一に輝いた宮崎茶房の皆さん

■おかげSUNマルシェが1周年を迎えました!

9月17日（土）・18日（日）の両日、癒しの森運動公園（日之影町）で、おかげSUNマルシェの1周年を記念するイベントが開催されました。

町を盛り上げるため、有志が集まって開催されるイベントで、1周年記念のマルシェでは、20を上回る出店があり、地元の山菜が乗ったうどんなどの食べ物や雑貨など魅力あふれる商品が並びました!



18日には、G音楽隊（五ヶ瀬町）により、「ヤングマン」等の楽曲が演奏され、運動公園は大いに盛り上がりました。



■ひのかげ栗まつりが第8回目の開催を迎えました

9月22日（木）に、道の駅青雲橋で、「第8回ひのかげ栗まつり」が行われました。

イベントでは、みやざきブランドに認証されている高千穂・日之影町産の「みやざきびっ栗」が販売され、開始と同時に栗を目当てに来場される方で賑わいました。

当日は、栗のほかにも、道の駅名物の特製もち焼きや、キャベツ、ナスなど新鮮な地ものの野菜も販売されました。

和・洋菓子の材料にも使用される品質の高い、高千穂・日之影産の栗をご賞味ください。



▷みやざきブランド認証の「みやざきびっ栗」は好評売し、追加で当日栗が調達されました。



■中川登集落のアート米が見頃を迎え観賞会が行われました!

高千穂町の中川登集落にて、今年で6年目を迎えるアート米の稲穂が色付き、約30アールの田んぼを華々しく飾りました。

今年は、熊本地震からの復興応援をテーマに、「がんばろや九州はひとつ」のメッセージとともに、高千穂町観光協会マスコットキャラクター「うずめちゃん」と、3県の県旗及び高千穂町の町旗を描いています。（左上部の宮崎県旗から時計回りに、大分県旗、熊本県旗、高千穂町旗となります。）

9月11日（日）には、中川登公民館にてアート米の観賞会が開催されました。田植えに参加した皆さんが鮮やかに浮かび上がった文字や絵を見て、地震からの早期復興を願い、また、未来の中川登や高千穂町の農業について語りながら、楽しい一夜を過ごしました。



▲ドローンで上空から撮影した田んぼの様子。赤、黒、白、緑の4色が使用されています。

*高千穂郷通信についてのご感想や、掲載してほしいイベント・取組みなどがありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

西臼杵支庁 検索



Facebookページ西臼杵支庁「ウキウキ!好き好き!ニシウスキ!」更新中!

